

心理学基礎演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-202
必修 2単位

稲田 尚子

1. 授業の概要(ねらい)

応用行動分析学、臨床発達心理学に基づく実証研究に関する文献を購読し、興味関心がある研究の追試をグループで実施することにより、臨床発達心理学、応用行動分析学の研究を体験する。具体的には、学校、恋愛、体重、安全など、生活の中のあらゆる行動のマネジメントに関する文献を取り扱う。自閉スペクトラム症や注意欠如・多動性障害などの発達障害の行動変容に関する文献も取り扱う。文献から必要な情報を読み取り実験を計画して実施すること、さらに得られたデータを解釈するための文献の利用などについても学ぶ。

2. 授業の到達目標

- 1.論理的思考に基づき、相手に伝わるプレゼンテーションができる。
- 2.多様な人々と良好な関係を築くためのコミュニケーションスキルを活用できる。
- 3.実社会におけるこころの問題を解決するために、様々な分野・立場の人と協働することができる。
- 4.心理学的課題に対し、自分の意見をもち主張できる。
- 5.グループで協力して、心理学的課題に取り組むことができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業中のディスカッション(40%)、プレゼンテーション(30%)、最終レポート(30%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

三浦 麻子(監修)佐藤 寛(著) なるほど! 心理学観察法(心理学ベーシック 第4巻) 北大路書房

5. 準備学修の内容

研究の準備のために文献の内容をしっかりと読み込んでおくこと。
研究の準備は授業時間外に行う必要がある。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス・授業の進め方についての説明・研究の追試と再現性
実験を行う文献の決定・グループ分け
- 【第2回】 文献を読み込み研究計画を立てる(1)
- 【第3回】 文献を読み込み研究計画を立てる(2)
- 【第4回】 文献と研究計画の発表
- 【第5回】 調査・実験の準備(1)
- 【第6回】 調査・実験の準備(2)
- 【第7回】 調査・実験の実施(1)
- 【第8回】 調査・実験の実施(2)
- 【第9回】 データの分析(1)
- 【第10回】 データの分析(2)
- 【第11回】 結果をレポートにまとめる(オンライン)
- 【第12回】 考察
- 【第13回】 研究結果の発表会(1)
- 【第14回】 研究結果の発表会(2)
- 【第15回】 次の研究につなげるための文献研究について